



国際芸術祭あいち2025

灰と薔薇のあいまに

Aichi Triennale 2025:

A Time Between Ashes and Roses

2025年7月23日（水）

国際芸術祭「あいち2025」ラーニング・プログラム 参加型プロジェクト「ラーニング・ラーニング」【vol.06】 の参加者を募集します

国際芸術祭「あいち2025」のラーニング・プログラムでは、世界のあらゆる表現と向き合うために、自分たちの立っている場所をともに学ぶ・知る・気づく・対話することを重視する参加型プロジェクト「ラーニング・ラーニング」を実施しています。6回目となる今回は「道具を作る道具」をテーマに開催します。

1 内容

「ラーニング・ラーニング」とは、「ラーニングを学ぶ」ということをコンセプトとし、国際芸術祭「あいち2025」に通じるテーマについて、参加者がそれぞれの考えを深めるためのプロジェクトです。今回実施する【vol.06】「道具を作る道具」では、レクチャーとワークショップを通して、「あいち2025」のテーマである「灰と薔薇のあいまに」にも通じる、人間と自然、テクノロジーの関係性を自らが生きるために技術を扱うという視点から解きほぐし、「作る」ことの意味を考えます。

ゲストには、技術哲学の研究者である七沢智樹氏をお招きし、亜熱帯原生ジャングルで道具を作りながらサバイバル的滞在をする「Iriomote JUNGLE CLUB」での実践例などを紹介いただきます。ワークショップでは、七沢氏の実践や実験の例や、参加者自らの体験、実際に瀬戸のまちを散策しながら感じたことを元に、「道具を作る道具」のアイデアを探っていきます。

2 開催概要

【vol.06】「道具を作る道具」

日 程：2025年8月10日（日）13:30～16:30

会 場：瀬戸くらし研究所（愛知県瀬戸市末広町2丁目22）

定 員：25名

参加費：無料（要事前申込、先着順）

申込方法：下記のフォームよりお申込みください。

<https://forms.gle/4RKGJX2uKX54tZqz9>

申込期限：2025年8月7日（木）17:00まで（定員に達し次第、締め切ります）

3 ゲストプロフィール

七沢 智樹（ななさわ ともき）

Technel 合同会社代表。山梨県立大学特任教授。

企業での技術開発の経験を生かし技術哲学を研究する。日本の技術哲学者が集う「技哲研」や、亜熱帯原生ジャングルで道具を作りながらサバイバル的滞在を実践する「Iriomote JUNGLE CLUB」を運営。共訳書に『技術哲学講義』（マーク・クーケルバーク）。



[本事業に関する問合せ]

国際芸術祭「あいち」組織委員会 事業担当

TEL: 052-971-0611（平日 9:00～17:00）

[取材・掲載に関する問合せ]

国際芸術祭「あいち」組織委員会 広報担当

TEL: 052-971-6182（平日 9:00～17:00）FAX: 052-971-6115

Email: press@aichitriennale.jp



©五十嵐大介